

目 次

| | | | |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------|----|
| 巻頭言 | 学会 10 周年を迎えて——これからの 10 年と「公共」 | 野坂 佳生 | 1 |
| 第 1 編 論 考 | | | |
| 〔研究論文〕 | アラバマ州の社会科における法教育カリキュラムの構成の特色 ——法のリテラシーの育成を目指す “Play by the Rules” の分析を通じて | 磯山 恭子 | 5 |
| 〔実践報告〕 | 「権威」について考える法教材の開発 ——人はなぜ自ら従おうとするのか？ | 坂本 真史 | 17 |
| | ギャンブル教育のすすめ | 川田 泰之 | 27 |
| | 修復的見地から見たコンフリクト解消教育の展望 | 竹村 登茂子 | 37 |
| | 法学部の中規模講義科目におけるグループワークの実践 ——インストラクショナルデザイン (ID) に基づく 授業改善の展望と共に | 石上 敬子, 芳中 千裕 | 45 |
| 〔研究ノート〕 | 仕事に役立つリーガルマインド教育について | 荻野 貴久 | 55 |
| | 裁判員制度 10 年の結果から “考える法教育” を提言する | 山本 聡 | 65 |

第2編 大会記録

[パネルディスカッション]

75

法教育のこれから——学会設立10年を振り返りながら

パネリスト：江口 勇治, 鈴木 啓文, 館 潤二
塩川 泰子, 長島 光一, 三浦 朋子

司 会：土井 真一, 村松 剛

第3編 学会通信

| | |
|------------|-----|
| 書評・図書紹介 | 111 |
| 法と教育学会規約 | 118 |
| 「法と教育」編集規程 | 120 |
| 「法と教育」投稿規程 | 120 |
| 「法と教育」執筆要領 | 121 |

※第2編におけるパネリスト等の所属・肩書きは2019年9月時点のもの

その他, 本誌における執筆者の所属・肩書きは2020年3月時点のもの